



1月23日(火)、前橋商工会議所会館において、群馬県、地元選出国會議員、県議会、行政機関、金融機関、友好団体等、多数の来賓と会員、総勢120余名が、新たな年の訪れを祝いました。

吉田勝彦会長が欠席のため、遠藤祐司副会長が主催者代表を務め、4年ぶりに宴席を設けた新年会では、参加者が互いに交流を深めました。

主催者挨拶 遠藤祐司 副会長

2024年は予想もしていなかった天災が発生し、厳しいスタートとなった。国際情勢をみれば、中国の覇権主義や米中の対立、ロシアのウクライナ侵攻の長期化など緊迫化している。また、依然、原材料、エネルギー価格の高騰が大きな足枷となっている。中小企業が、賃上げ原資確保のため、生産性向上等に取り組む中で、中小企業組合が機能を発揮し、適正な価格転嫁を進めていく。県をはじめ行政機関におかれましては、引き続きのご支援をお願いしたい。



祝辞をいただいた来賓

群馬県知事 山本一太 氏

コロナからの回復は十分ではないと認識しており、引き続き経済3団体としっかり連携し、中小企業支援を行っていききたい。



群馬県議会議長 安孫子 哲 氏

中小企業の活性化こそが、地域の発展に必要不可欠。関係機関と連携を図りながら、中小企業の支援活動に取り組んでいく。



日本銀行前橋支店

支店長 肥後秀明 氏

本県は、環境変化をマイナスと捉えず、変革のチャンスと捉え、チャレンジする経営者が多い。一緒に前に進む年となることを願う。



会員を出迎える副会長(上)



群馬銀行代表取締役頭取深井彰彦氏による乾杯の発声(右)

